



講義録レポート

講義録コード

00-4-14-201-01

講 座	簿記検定講座	科目①	
目標年	2024年11月合格目標	科目②	工原 I
コース	1級レギュラーコース	回 数	1 回
		通算回数	1 回

収録日	2023年 12月 4日		
講師名	鈴木 隆文 講師	内 板書 訳 枚数	0 枚
		補助レジュメ 枚数	8 枚
		その他 ()	6 枚

講義構成	前半 75 分 → 休憩 10 分 → 後半 89 分		
実施テスト	有 ・ 無		
対応テスト	<ミニテスト>	()	第 回
	<答練・演習>	()	第 回
使用教材	●合格テキスト P. 2 ～ P. 29		
	●合格トレーニング P. ～ P.		
	●その他 [] P. ～ P.		
配付 教材・資料	●教材(テキスト・問題集) (原価計算基準の緑の冊子)		講義録添付 (有 無)
	●補助レジュメ () 8枚		講義録添付 (有 無)
	●その他(オリエンテーション・学習進度表・正誤表) 6枚		講義録添付 (有 無)
備考	～DVD・Web受講生各位～ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に映らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上、ご受講ください。		

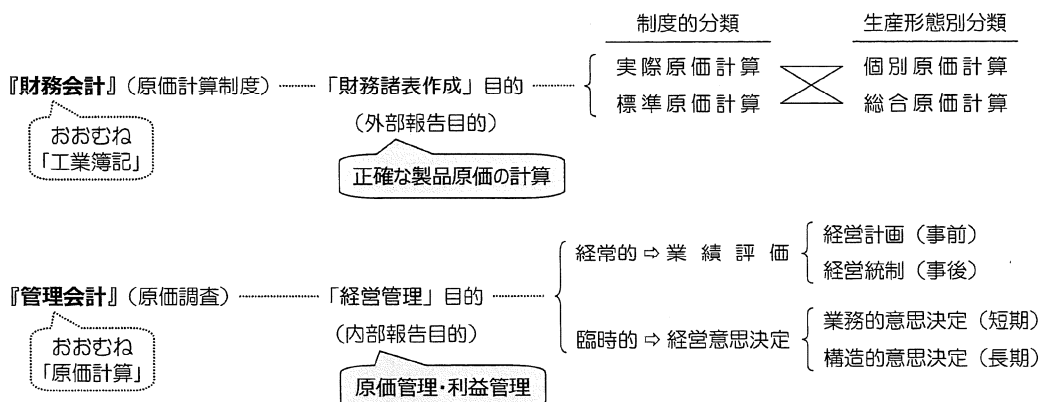
この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されています。

TAC簿記検定講座

テーマ1 総論 (P.2～P.14)

〈工原Ⅰ 第1回〉

1. 原価計算の目的と分類 (P.2～)



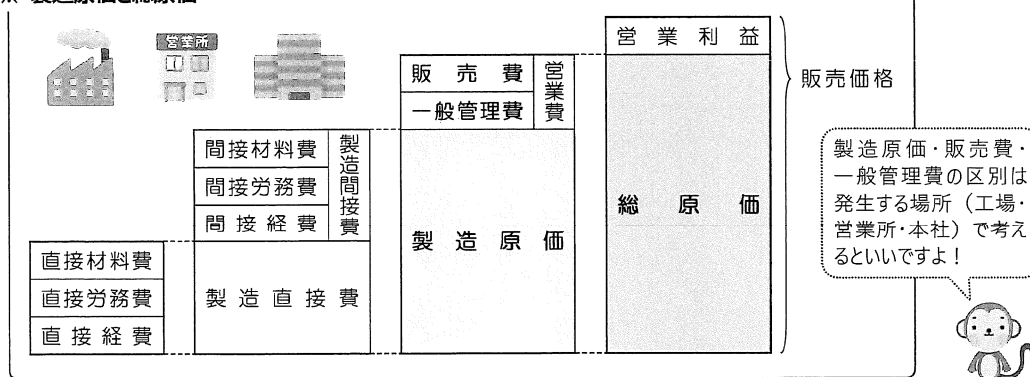
2. 原価の基礎的分類 (P.8～)

		製品との関連における分類			
		直 接 費		間 接 費	
形態別分類	モノ	材 料 費	直 接 材 料 費	間 接 材 料 費	
	ヒト	労 務 費	直 接 労 務 費	間 接 労 務 費	
	その他	経 費	直 接 経 費	間 接 経 費	
		↓ 製造直接費		↓ 製造間接費	
		原価要素			

製造直接費 … どの製品に対して消費したかが明確である ⇒ 各製品に対して

製造間接費 … どの製品に対しても共通的に消費している ⇒ 各製品に対して

※ 製造原価と総原価



販売費: 販売(営業)に関する費用 … 掛金回収費, 出荷運送費, 営業所建物の減価償却費など

一般管理費: 管理(本社)に関する費用 … 重役室費, 役員賞与, 技術研究費, 本社建物の減価償却費など

3. 非原価項目 (P.7) … 費用等にはなるが、原価にはならないもの (原価に算入しない項目)

① 経営目的に関連しない価値の減少

- ・ 投資資産である建物・設備、未稼働の固定資産、長期休止の設備に関する減価償却費
- ・ 支払利息などの財務費用
- ・ 有価証券の評価損および売却損

② 異常な状態を原因とする価値の減少

- ・ 異常な仕損、減損、たな卸減耗など
- ・ 火災、震災、風水害、盗難などの偶発的事故による損失
- ・ 固定資産の売却損および除却損

仕損 … 失敗分 (一定の品質規格を満たさない不合格品)
減損 … 蒸発分 (加工中の蒸発・粉散・ガス化・煙化)
たな卸減耗 … 材料が保管中に破損・紛失・蒸発した分

③ 税法上とくに認められている損金算入項目 ⇨ 工原で問われることはまずない。

④ その他の利益剰余金に課する項目

- ・ 法人税、所得税、住民税
- ・ 配当金、任意積立金繰入額などの利益処分項目
(役員賞与金については、その引当額が一般管理費となる。)

借入金が会社経営のためのものでも、その支払利息は非原価項目 (営業外費用) となります。つまり、資金の借入は財務活動で、経営活動とは区別されます。

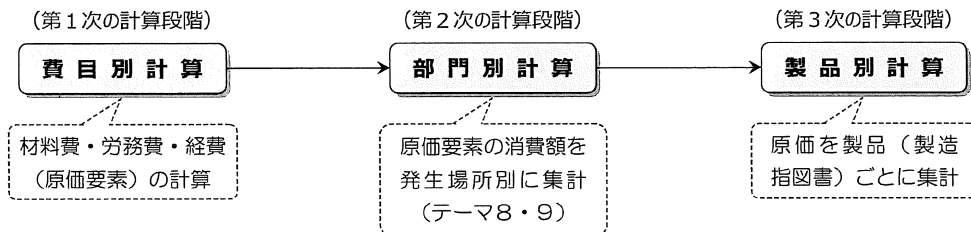


⇨ ① および ② は、損益勘定に振替える (P/L 上は、営業外費用または特別損失に計上)。

④ は、当期純利益を計算した後のものなので、当然、原価にはならない。

⇨ (P.11) **設例 1-1**

4. 原価計算の手続き (P.13)



原価計算基準

『原価計算基準』とは、「企業会計原則の一環を成し、そのうちとくに原価に関して規定したもの」として設定されている。商業簿記・会計学で学習するところの『企業会計原則・注解』に相当するものである。

本試験では、この『原価計算基準』の穴埋め問題が出題されている (語群は与えられている。ただ、最近は出たり出なかったり…)。そのため、穴埋めできる程度にこの『基準』を読んで本試験に臨む必要がある。

【トレーニング】AA：過去問の類題，A：重要，B：基本，C：参考，D：不要

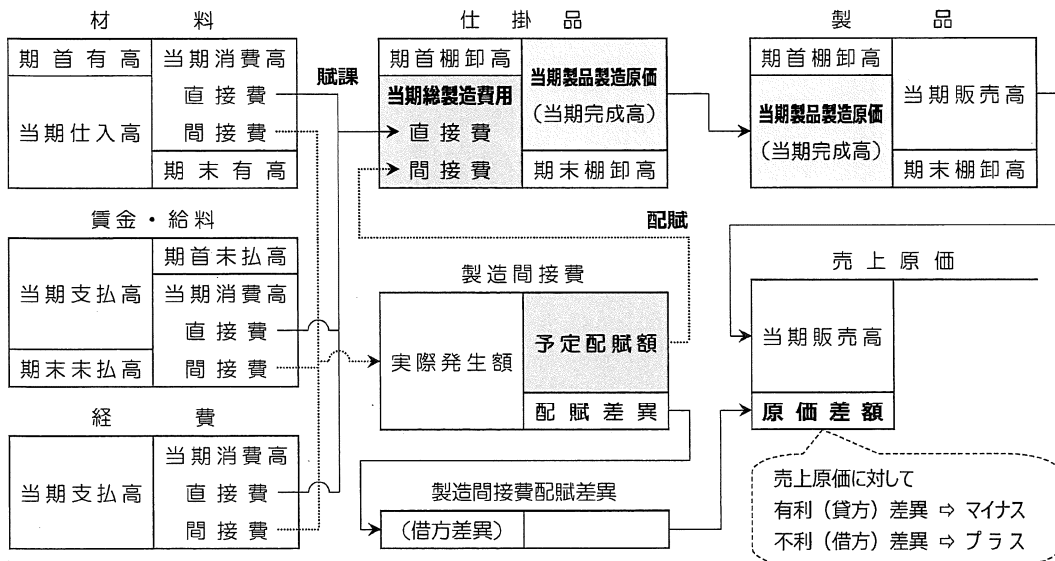
テーマ1 総論

		論 点	テキスト	過去問の類題	標準解答時間
1-1	C	原価の基礎的分類 (製造原価と総原価)	設例 1-1		2 分
1-2	C	原価の基礎的分類			3 分
1-3	C	原価の基礎的分類			3 分
1-4	C	原価の基礎的分類 (原価要素別分類)			3 分

※ いまのところは、製造原価が販売費か一般管理費かの分類ができれば OK！ 1-4 は第3回終了時でも OK！

テーマ2 原価記録と財務諸表 (P.16 ~ P.23)

勘定連絡図と財務諸表 (P.16 ~)



製造原価明細書 (C/R : Cost Report) と損益計算書 (P/L : Profit & Loss Statement)

- ① 形態別分類によるC/R
② 製品との関連における分類（直間分類）によるC/R } 製造原価明細書 (C/R) には2種類の形式がある！

製造原価明細書				損益計算書			
I 直接材料費				I 売上高 200,000			
1. 期首材料棚卸高	1,500			II 売上原価			
2. 当期材料仕入高	20,500			1. 期首製品棚卸高	26,000		
合計	22,000			2. 当期製品製造原価	126,000		
3. 期末材料棚卸高	2,000	20,000		合計	152,000		
II 直接労務費		35,000		3. 期末製品棚卸高	33,000		
III 直接経費		25,000		差引	119,000		
IV 製造間接費				4. 原価差額	1,000	120,000	
1. 間接材料費	5,000			売上総利益		80,000	
2. 間接労務費	18,000			...		...	
3. 水道光熱費	4,000						
4. 減価償却費	18,000	18,000					
合計	45,000	45,000					
製造間接費配賦差異	1,000	44,000					
当期総製造費用		124,000					
期首仕掛品棚卸高		9,000					
合計		133,000					
期末仕掛品棚卸高		7,000					
当期製品製造原価		126,000					

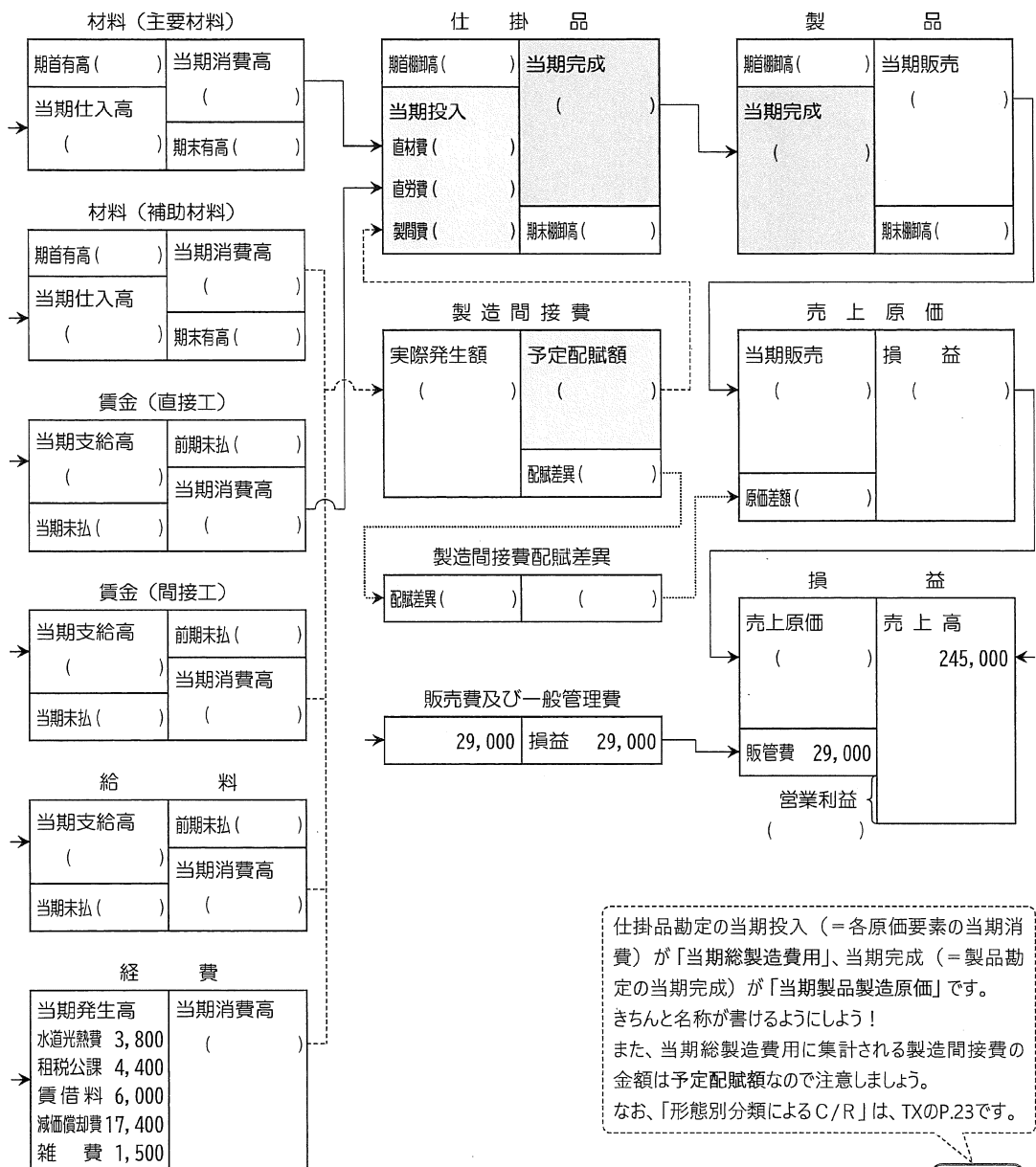
製品 a/c ・ 売上原価 a/c と対応

仕掛品 a/c と対応

C/R・P/L とも、「年次」の場合もあれば、「月次」の場合もあります。
差異の P/L 表示は「原価差額」です！

⇒ (P.21) 設例 2-1

設例 2-1 (P.21) の勘定連絡図



仕掛品勘定の当期投入 (= 各原価要素の当期消費) が「当期総製造費用」、当期完成 (= 製品勘定の当期完成) が「当期製品製造原価」です。
きちんと名称が書けるようにしよう！
また、当期総製造費用に集計される製造間接費の金額は予定配賦額なので注意しましょう。
なお、「形態別分類によるC/R」は、TXのP.23です。



【トレーニング】AA：過去問の類題，A：重要，B：基本，C：参考，D：不要

テーマ2 原価記録と財務諸表

		論 点	テキスト	過去問の類題	標準解答時間
2-1	B	製造原価明細書・損益計算書の作成	設例 2-1		15 分
2-2	B	仕掛品勘定および損益計算書の作成			10 分
2-3	B	製造原価明細書・損益計算書の作成（推定）			15 分

設例 2-1

製 造 原 価 明 細 書

自平成×年×月×日 至平成×年×月×日

(単位：千円)

I 直 接 材 料 費

1. 期 首 材 料 棚 卸 高 ()

2. 当 期 材 料 仕 入 高 ()

合 計 ()

3. 期 末 材 料 棚 卸 高 () ()

II 直 接 労 務 費

()

III 製 造 間 接 費

1. 補 助 材 料 費 ()

2. 間 接 工 賃 金 ()

3. 給 料 ()

4. 水 道 光 熱 費 ()

5. 租 税 公 課 ()

6. 賃 借 料 ()

7. 減 価 償 却 費 ()

8. 雑 費 ()

合 計 ()

製造間接費配賦差異 () ()

[] ()

期 首 仕 掛 品 棚 卸 高 ()

合 計 ()

期 末 仕 掛 品 棚 卸 高 ()

[] ()

損 益 計 算 書

自平成×年×月×日 至平成×年×月×日

(単位：千円)

I 売 上 高

245,000

II 売 上 原 価

1. 期 首 製 品 棚 卸 高 ()

2. [] ()

合 計 ()

3. 期 末 製 品 棚 卸 高 ()

差 引 ()

4. [] () ()

売 上 総 利 益 ()

III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費

29,000

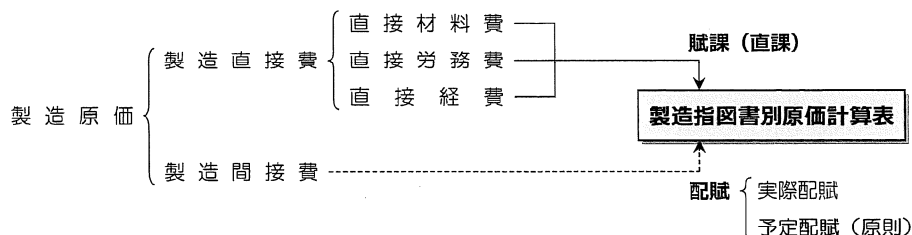
営 業 利 益 ()

テーマ3 個別原価計算 (P.24 ~ P.29)

1. 個別原価計算 (P.24)

個別原価計算とは、顧客からの注文を受けてから製品を生産する、個別受注生産に適用される原価計算である。顧客からの注文を受けると、その注文に応じた製造指図書（特定製造指図書）を発行する。そして、その製造指図書ごとに製造原価を集計する（ex. 建設業における1棟のビル建設、造船業における1隻の船舶の製造 etc.）。

2. 個別原価計算の計算手続き (P.26)



3. 製造指図書別原価計算表と仕掛品勘定の関係 (P.27)

製造指図書別原価計算表					
	#101	#102	#103	合計	
月初仕掛品原価	XX	—	—	XX	仕掛品勘定の借方と対応
直接材料費	XX	XX	XX	XXX	
直接労務費	XX	XX	XX	XXX	
製造間接費	XX	XX	XX	XXX	
合計	XXX	XXX	XX	XXX	
備考	完成	完成	仕掛中	—	配賦

仕掛品				
	前月繰越	材料	賃金・手当	
製造間接費	XX	XXX	XXX	製品
	XXX			
				次月繰越
				XXX (#101と#102) ←
				XXX (#103) ←

⇒ (P.28) 設例3-1

【トレーニング】 AA：過去問の類題，A：重要，B：基本，C：参考，D：不要

テーマ3 個別原価計算

		論 点	テキスト	過 去 問	解 答 時 間
3-1	B	原価計算表および仕掛品・製品勘定の記入	設例3-1		10分
3-2	B	原価計算表および仕掛品・製品勘定の記入			10分

次回のミニテストの類題

設例2-1

設例3-1

問題2-1

問題2-2

問題3-1

問題3-2

設例 3-1 (P.28)

(A) 製造指図書別原価計算表 (単位: 千円)

製造指図書別原価計算表

	#102	#103	#104	#105	#106	合 計
期首仕掛品原価						
直接材料費						
直接労務費						
製造間接費						
合 計						
備 考						

(B) 仕掛品勘定と製品勘定の記入 (単位: 千円)

仕 掛 品			
前 期 繰 越	()	[]	()
材 料	()	次 期 繰 越	()
賃 金 ・ 手 当	()		
製 造 間 接 費	()		
	()		()
製 品			
前 期 繰 越	()	[]	()
→ []	()	次 期 繰 越	()
	()		()

(参考) 製造原価明細書および損益計算書の作成 (単位: 千円)

仕掛品勘定から「製造原価明細書」、製品勘定から「損益計算書(売上原価)」⇒ 解答は 設例 2-1

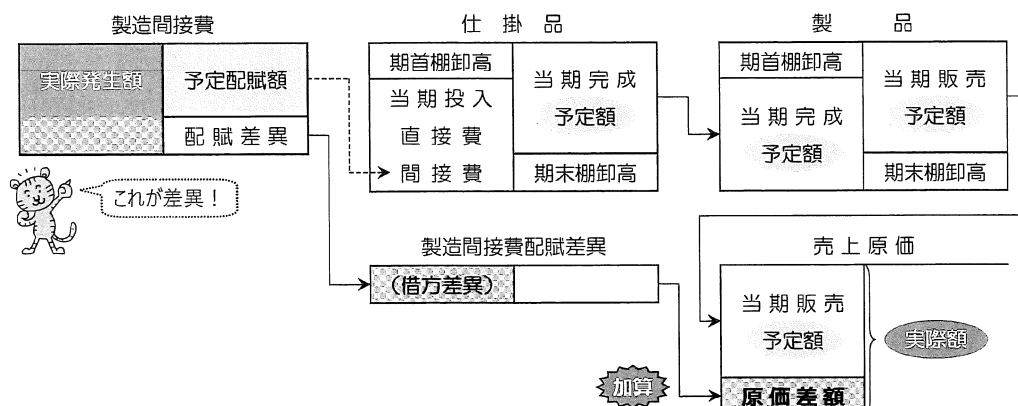
製 造 原 価 明 細 書		損 益 計 算 書	
I 直接材料費	()	I 売上高	245,000
II 直接労務費	()	II 売上原価	
III 製造間接費	()	1. 期首製品棚卸高	()
[]	()	→ 2. []	()
期首仕掛品棚卸高	()	合 計	()
合 計	()	3. 期末製品棚卸高	()
期末仕掛品棚卸高	()	差 引	()
[]	()	4. 原 価 差 額	(+) 1,000 ()
		売上総利益	()

原価差異について…

工業簿記では、製造間接費に限らず、材料費や労務費などの計算においても、まず予算額で計算しておき、後から実際額を集計し、両者の差額を「原価差異」として把握する処理を行うことがある。

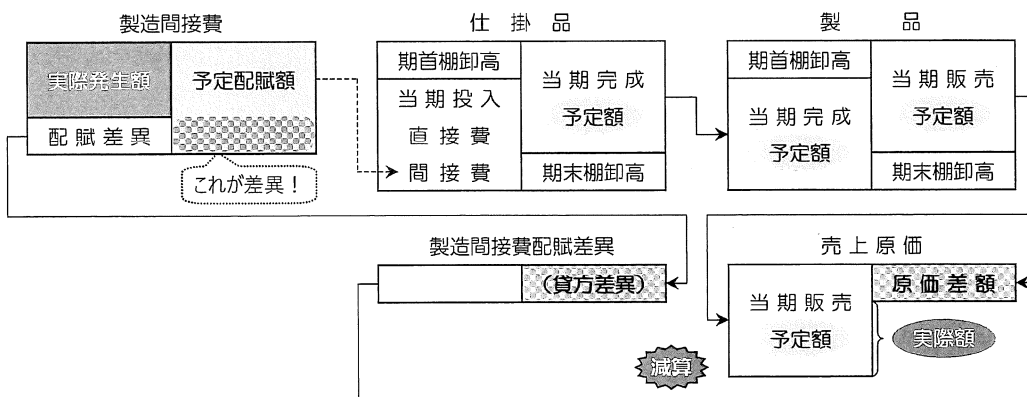
この把握された原価差異は、月次において原価差異勘定に集計しておき、年次（会計年度末）において売上原価に加減算（売上原価に賦課）する。ただし、問題によっては月次の売上原価に原価差異を賦課することもある。

1. 借方差異（不利差異）の場合 …「予算配賦額 < 実際発生額」⇒ 売上原価にプラス



「借方差異」は、原則として売上原価に加算する。つまり、売上原価（費用）を増加させることになり、利益の減少につながるため、借方差異は利益にとって不利である。ゆえに、借方差異は「不利差異」といわれる。

2. 貸方差異（有利差異）の場合 …「予算配賦額 > 実際発生額」⇒ 売上原価からマイナス



「貸方差異」は、原則として売上原価から減算する。つまり、売上原価（費用）を減少させることになり、利益の増加につながるため、貸方差異は利益にとって有利である。ゆえに、貸方差異は「有利差異」といわれる。

予算額で配賦する理由

実際額を配賦する方法（実際配賦）には、次のような欠点がある（詳しくはテーマ7にて！）。

- ① 計算の遅延 … 実際発生額をすべて把握するまで配賦ができないため、計算が遅延する。
- ② 季節的変動 … 操業度（製品生産量や直接作業時間など）の変化によって、製品の実際製造原価が著しく変動する。

このような実際配賦の欠点を克服するために、予算額で配賦する方法（予算配賦）が用いられる。

日商1級(工原)オリエンテーション

第168回(2024年11月)本試験対策

1. 日商簿記検定試験(1級)の概要

試験日: 6月の第2日曜・11月の第3日曜 午前9時～

試験時間: 商業簿記・会計学 1時間30分 工業簿記・原価計算 1時間30分 合計 3時間(途中20分休憩)

合格ライン: 各科目25点 合計100点満点のうち70点以上が合格(ただし1科目でも10点未満であると不合格)

合格率: 約10% (147回 5.9% 149回 13.4% 150回 9.0% 152回 8.5% 153回 9.8% 156回 13.5%
157回 7.9% 158回 9.8% 159回 10.2% 161回 10.1% 162回 10.4% 164回 12.5%)

2. 試験委員(工業簿記・原価計算)

岡本 清(おかもと きよし) 教授……… 主な著書『原価計算(六訂版)』国元書房

廣本 敏郎(ひろもと としろう) 教授…… 主な著書『原価計算論(第3版)』(挽教授との共著)中央経済社

◎ 尾畑 裕(おばた ひろし) 教授 } いまはこの両教授を中心としたメンバーが問題を作っています。
◎ 挽 文子(ひき ふみこ) 教授 }

いずれも一橋大学(または大学院)教授。4者による共同著書『管理会計』中央経済社

3. 出題分野・内容

工業簿記: 財務会計 … 製品原価の計算(勘定記入・財務諸表作成など) ⇨ 合格テキストⅠ・Ⅱ

原価計算: 管理会計 … 利益計画・予算統制・意思決定など(数値の算定問題) ⇨ 合格テキストⅢ

※『原価計算基準』から理論問題(語群選択問題)が出題されます(最近は出たり出なかったり…)

4. 短期合格のために…

(1) 授業は必ず休まず受講する!

他のクラスおよび他の校舎への振替は自由です。必ず休まず受講しましょう。また、Webフォロー(本科生は無料)やDVDフォロー(有料500円/回 要予約)もあります。

(2) 復習を怠りなく、多くの問題をこなす!(とにかく手を動かす)

テキストの設例・トレーニングの問題で復習中心の学習になります。その際、自分で計算用紙をしっかりと書いて必ず手を動かすようにしましょう。すなわち、すぐに解答を見るということはないで、まずは自分で考えて解答を作成しましょう。ただし、初見の問題(特に過去問の類題)は解くのに非常に時間がかかります。1題に何時間も考え込んでしまうのは非効率なので、ある程度(例えば15分)は自分で考えて、それでも分かなければ解説を見るようにしましょう。そのときに「そうなんだ」でなおざりにしないで、必ず「どうしてそのような計算をするのか」というように、理解中心の学習をするようにしましょう。

(3) 質問を怠らない!

「基本的なことなのですが…」といって質問する人や、質問自体を躊躇する人もいますが、基本的なことが一番重要です。基本を理解していないと応用的な問題を解いて、そのときは分かったつもりでいても、時間が経過したり、ちょっと捻られたりすると途端に解けなくなったりします。いつの講義の内容でも構わないので、しっかり質問をして、分からないことは残さないようにしましょう。

なお、自宅で学習していて疑問点ができた場合、電話で聞くこともできます。

簿記検定講座 講師室(直通)

TEL 03-5276-8916

	月	火	水	木	金
14:00~17:00	○	—	○	—	○
18:00~20:00	○	—	○	—	○

(4) ミニテスト・基礎演習を毎回必ず受けて、満点をめざす!

講義を受けてのインプットばかりでなく、アウト・プットの練習のために、毎回15分のミニテストを実施します。ミニテストは前回の講義の確認問題になります。毎回しっかり受けて、知識を整理していきましょう。また、基礎答練(全4回)も、おおむね各論点の終了時に実施します。解答を作成する練習も怠らずに!

1級学習進度表【1級工業簿記・原価計算講義】

《《 1級/2024年11月合格目標 》》

合格テキスト【1級工業簿記・原価計算Ver.8.0】を使用

※ 下記のカリキュラムは、今後変更となる場合がございます。

1級工業簿記・原価計算 合格テキストⅠ	第1回	(通算)	テーマ01 総論	1 日商1級工業簿記・原価計算で学ぶこと
				2 原価計算の意義と目的
				3 原価計算の種類と生産形態による分類
				4 原価の一般概念
				5 原価の基礎的分類
				6 原価計算の手続き
				7 原価計算単位と原価計算期間
	第2回	(通算)	テーマ02 原価記録と財務諸表	1 原価計算と工業簿記
				2 財務諸表
	第3回	(通算)	テーマ03 個別原価計算	1 個別原価計算の意義
				2 個別原価計算の概要
				3 個別原価計算の計算手続
				4 原価記録と財務記録
	第4回	(通算)	テーマ04 材料費会計	1 原価の費目別計算
				2 材料費会計総論
				3 材料購入原価の計算と処理
				4 材料消費額の計算と処理
				5 月末材料の管理
	第5回	(通算)	テーマ05 労務費会計	1 労務費会計総論
				2 支払賃金の処理
				3 賃金消費額の計算
	第6回	(通算)	テーマ06 経費会計	4 その他の労務費の計算
				5 定時間外作業手当の処理
				1 経費会計総論
	第7回	(通算)	テーマ07 製造間接費会計	2 間接経費の計算と処理
				3 外注加工賃の計算と処理
				1 製造間接費会計総論
	第5回	(通算)	テーマ08 原価の部門別計算(Ⅰ)	2 製造間接費の実際配賦
				3 製造間接費の予定配賦
	第6回	(通算)	テーマ09 原価の部門別計算(Ⅱ)	1 部門別計算総論
				2 部門別計算の手続き
				1 単一基準配賦法と複数基準配賦法
	第7回	(通算)	テーマ10 個別原価計算における仕損	2 補助部門費の配賦方法と責任会計
				3 部門別製造間接費の予定配賦
				1 仕損とは
				2 仕損費の計算
				3 仕損費の処理
				4 作業屑の処理

基礎答練 第1回 実施

1級工業簿記・原価計算 合格テキストⅡ	第1回	(通算) 第8回	テーマ01 総合原価計算の基礎
			1 総合原価計算とは
			2 単一工程単純総合原価計算
	第2回	(通算) 第9回	テーマ02 仕損・減損が生じる場合の計算
			1 仕損・減損とは
			2 異常仕損・異常減損の処理
			3 正常仕損費・正常減損費の負担関係
			4 正常仕損費・正常減損費の処理-Ⅰ(度外視法)
			5 正常仕損費・正常減損費の処理-Ⅱ(非度外視法)
			6 正常発生額・異常発生額の両方が生じる場合
			7 正常減損率が安定している場合の計算
	第3回	(通算) 第10回	テーマ03 工程別総合原価計算
			1 工程別総合原価計算とは
			2 累加法
			3 非累加法
			4 加工費工程別総合原価計算
			5 工程間仕掛品がある場合
	第4回	(通算) 第11回	テーマ04 組別・等級別総合原価計算
			1 組別総合原価計算
			2 等級別総合原価計算
	第5回	(通算) 第12回	テーマ05 連産品の原価計算
			1 連産品の原価計算
			2 副産物の処理
	第6回	(通算) 第13回	テーマ06 標準原価計算の基礎
			1 標準原価計算総論
			2 標準原価計算における勘定記入法
			3 標準原価計算における差異分析
			4 その他の計算形態
	第7回	(通算) 第14回	テーマ07 標準原価計算における仕損・減損
			1 仕損や減損が発生する場合の標準原価計算
			2 配合差異と歩留差異の分析
	第8回	(通算) 第15回	テーマ08 原価差異の会計処理
			1 原価差異の会計処理
			2 原価差異の会計処理方法
	第9回	(通算) 第16回	基礎答練 第2回 実施
	第10回	(通算) 第17回	テーマ09 標準の改訂
			1 標準の改訂
			2 旧標準が正しかった場合
			3 旧標準が誤りであった場合
	第11回	(通算) 第18回	テーマ10 本社工場会計
			1 本社工場会計とは
			2 本社工場会計における簿記一巡
			3 本社工場間取引
			4 帳簿上の決算手続
			5 本社工場合併財務諸表の作成

1級工業簿記・原価計算 合格テキストⅢ	第1回	(通算) 第20回	テーマ01 経営管理のための会計情報 1 財務会計と管理会計 2 管理会計のための原価計算
	第2回	(通算) 第21回	テーマ02 直接原価計算 1 直接原価計算の意義 2 直接原価計算の特徴 3 直接原価計算制度
	第3回	(通算) 第22回	テーマ03 直接標準原価計算 1 直接標準原価計算とは 2 損益計算書の表示と勘定連絡図 3 直接標準原価計算制度における固定費調整
	第4回	(通算) 第23回	テーマ04 企業予算の編成 1 企業予算総論 2 基本予算の編成手続
	第5回	(通算) 第24回	テーマ05 原価・営業量・利益関係の分析 1 原価予測の方法 2 CVP分析 (「7.経営レバレッジ係数」まで) (「8.多品種製品のCVP分析」より)
	第6回	(通算) 第25回	テーマ06 最適セールス・ミックスの決定 1 最適セールス・ミックスの決定とは 2 共通する制約条件が1つだけの場合の最適セールス・ミックスの決定 3 共通する制約条件が2つ以上の場合の最適セールス・ミックスの決定
	第7回	(通算) 第26回	テーマ07 事業部の業績測定 1 セグメント別収益性の測定 2 資本コスト率の計算 3 業績測定の指標 4 事業部の業績測定 5 内部振替価格
	第8回	(通算) 第27回	テーマ08 予算実績差異分析 1 予算実績差異分析とは 2 予算実績差異分析の分類 3 予算実績差異分析の計算手法 4 セグメント別の予算実績差異分析 基礎答練 第3回 実施
	第9回	(通算) 第28回	テーマ09 差額原価収益分析 1 差額原価収益分析総論
	第10回	(通算) 第29回	テーマ10 業務執行上の意思決定 1 業務執行上の意思決定総論 2 業務執行上の意思決定の計算例 (「2.内製か購入かの意思決定」まで) (「3.追加加工の要否の意思決定」より)
	第11回	(通算) 第30回	テーマ11 設備投資の意思決定 1 構造的意思決定総論 2 設備投資の意思決定モデル 3 設備投資にともなうキャッシュ・フローの予測 (「2.(1)新規大規模投資におけるキャッシュ・フローの予測」まで) (「2.(3)拡張投資におけるキャッシュ・フローの予測」) (「2.(2)取替投資におけるキャッシュ・フローの予測」) (「2.(4)耐用年数が異なる投資案の比較」より) (「2.(5)リースか購入かの意思決定」)
	第12回	(通算) 第31回	テーマ12 戦略の策定と遂行のための原価計算 1 企業環境の激変に対応する新しい原価計算 2 ライフサイクル・コストニング 3 原価企画・原価維持・原価改善 4 品質原価計算 5 活動基準原価計算
	第13回	(通算) 第32回	
	第14回	(通算) 第33回	基礎答練 第4回 実施

1級 工業簿記・原価計算
合格テキスト・合格トレーニング Ver.8.0

なお、増刷の場合は、すでに下記正誤が反映されている場合もございます。ご了承ください。

<29> 問題 2-16 ページ	問題 2-16 解答への道	解答への道 4. まとめ (2) の各計算式を、以下のように修正してください。
	月末仕掛品原価： 直接材料費；440,000 円 + 9,000 円 = 449,000 円 正常仕損費 加 工 費；320,000 円 + 5,000 円 = 325,000 円 正常仕損費 合 計；449,000 円 + 325,000 円 = 774,000 円 仕損品評価額：160 円/個 × 100 個 = 16,000 円 完成品総合原価： 直接材料費；3,080,000 円 + 63,000 円 = 3,143,000 円 正常仕損費 加 工 費；2,800,000 円 + 35,000 円 = 2,835,000 円 正常仕損費 合 計；3,143,000 円 + 2,835,000 円 = 5,978,000 円	
	完成品単位原価：5,978,000 円 ÷ 3,500 個 = 1,708 円/個	



004-4182-1013-15

1 級工原合格テキスト・合格トレーニング Ver. 8.0 正誤表

【 合格トレーニングⅢ (Ver. 8.0) 】

14
ページ

問題 3-1

(資料)1および2を、以下のように修正してください。

1. 製品 1 単位あたりの標準製造原価

直接材料費	20 円/kg	×	5 kg	=	100 円
直接労務費	30 円/時間	×	10 時間	=	300 円
製造間接費	50 円/時間	×	10 時間	=	500 円
製品単位あたりの全部製造原価					<u>900 円</u>

2. 予算データ (月間)

基準操業度	20,000 直接作業時間
固定製造間接費	600,000 円
変動販売費	60 円/個
固定販売費	100,000 円
一般管理費	200,000 円 (すべて固定費)

正誤表は、TAC WEB SCHOOLのマイページ上にて掲載しております。ご確認をお願いいたします。